

仁寺洞（インサドン） —お土産を買うならここ—

仁寺洞はソウル市北部（鍾路区）にあり、地下鉄3号線「安国駅」とタップゴル公園を結ぶ約460mの通りです。街並み保存地区の北村からは歩いて行けます。

仁寺洞は、通りや路地に工房や、骨董品店が並び、ギャラリーでは写真展や陶芸作家の合同作品展等が一年を通して行われているので、賑やかな午後を避け午前中に。



写真提供：韓国観光公社

通りではお菓子の実演販売が楽しめ、職人さんが「クルタシ」を堪能な日本語を交えて作っている様子が見られます。

このお菓子は王様のおやつとして、またお客様のおもてなしに出されたもので、アーモンド、きな粉、黒胡麻、胡桃、松の実、落花生を白く細い糸状に伸ばした蜜でくるんだものです。



写真提供：ソウル特別市

王朝時代に衰退した「お茶」の文化は1960年代に復興し、現在ではさまざまな伝統茶が親しまれています。写真は「五味子茶」（オジヤチャ）という五つの味が楽しめるお茶です。 写真提供：ソウル特別市



- ・「苦味」心臓機能の低下、貧血気味
- ・「酸味」ストレス
- ・「甘味」脾臓機能の低下、老廃物の滞り
- ・「塩味」下半身の冷え
- ・「辛味」気管支が弱り、エネルギー不足
(味の違いで健康状態が分かるとは不思議。)

伝統茶は、ほかにも高麗人参茶、双和茶、生姜茶、なつめ茶、梅茶花梨茶、柚子茶等があります。